

第46回高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成 28 年 2 月 20 日（土）15：00 ～ 18：00

場 所：アクロス福岡 7 階 大会議室

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-1-1

参加費：2,000 円

募集定員：130 名

Field※：A（排尿管理）

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツはずし・認知症・介護・保険 他）
詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

テーマ：排尿管理

Opening Remarks：宮崎 良春 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：武井 実根雄 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局長）

講演：『蓄尿・排尿のしくみと代表的病態について』

講師：高橋 良輔 先生（九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野 助教）

蓄尿・排尿に関わる下部尿路の構造としくみについて概説した後、代表的な下部尿路疾患である前立腺肥大症、過活動膀胱、尿失禁、神経因性膀胱などについてお話ししたいと思います。また最も悩ましい症状のひとつである夜間頻尿についても触れたいと思います。

講演：『排尿管理 ～在宅の立場から、他職種連携の必要性～』

講師：今丸 満美 先生（日本コンチネンス協会 九州支部長／有限会社エルム 代表）

在宅医療を推進されている今日、退院時、一人一人の排尿管理が行われずに在宅移行されていることが多い。また、在宅に移行しても、その時の排泄手段に疑問を持たないまま継続されているのが現状である。いつ、誰が、どのように、きちんとアセスメントし「気持ちの良い排泄」を目指すか、いくつか提案したい。

講演：『現場で役立つ排尿管理』

講師：山下 博志 先生（日本海員掖済会門司掖済会病院泌尿器科 部長）

夜間頻尿は最も影響の大きい下部尿路症状であり、病院や施設では転倒事故の原因にもなっている。また、溢流性尿失禁も見逃しやすい大きな問題である。今回は、このような下部尿路症状に対してより良い排尿管理を行うには、どのような対処法があるかをお話ししたい。

Closing Remarks：山口 秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、ファイザー株式会社

後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9：00～17：00 土・日・祝日 休）
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL：092-282-5910 FAX：092-282-5812